

南砺市 中学校部活動のあり方全体説明会 アンケート結果

【会場】

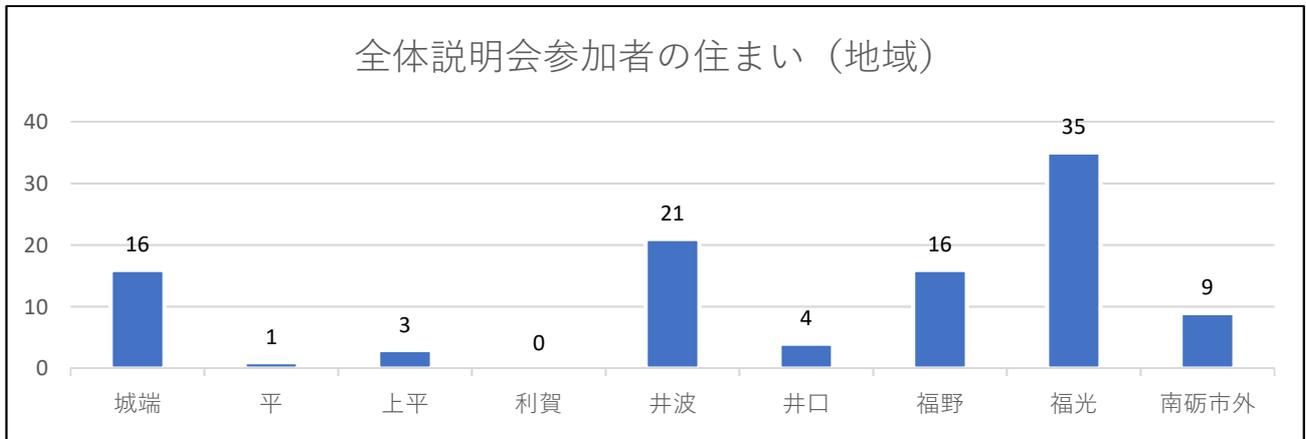
南砺市井波総合文化センター メモリアホール

【日時】

①	令和3年4月28日（水）	19:00～	参加者数	79名
②	令和3年5月9日（日）	14:00～	参加者数	57名
			合計	136名

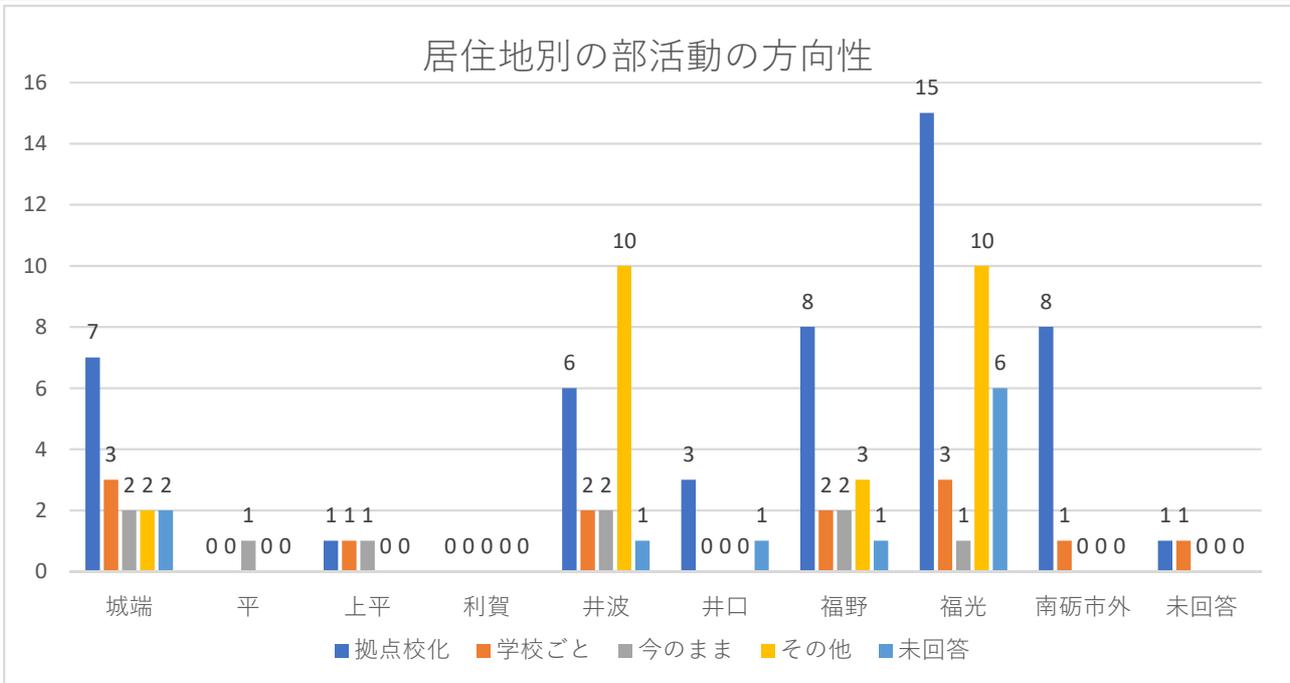
1-(1) 全体説明会に参加された方の住まい（地域）

地域	城端	平	上平	利賀	井波	井口	福野	福光	南砺市外	未回答	計
地域別参加者数	16	1	3	0	21	4	16	35	9	2	107



1-(2) 全体説明会に参加された方の住まい別の部活動の方向性

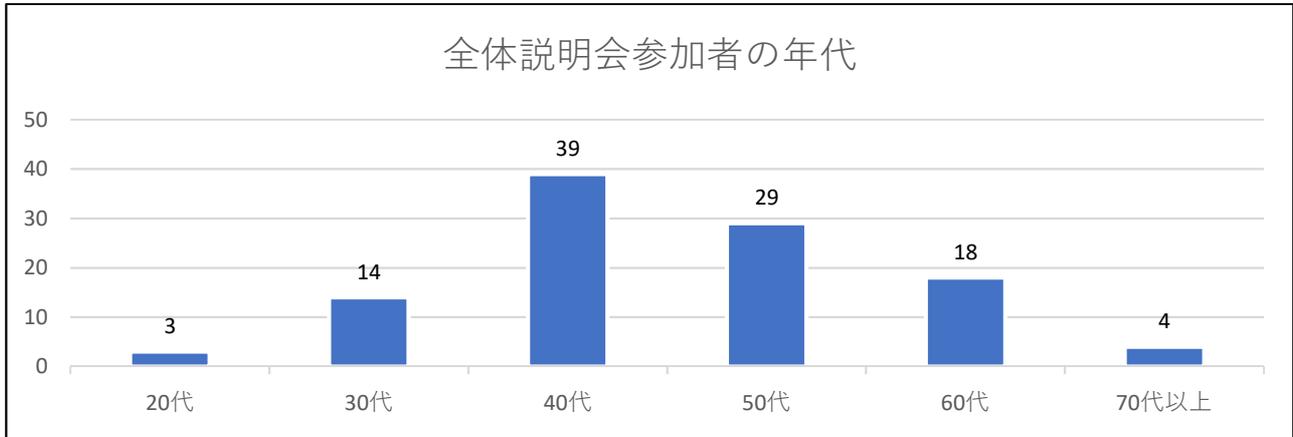
方向性 \ 地域	城端	平	上平	利賀	井波	井口	福野	福光	南砺市外	未回答	計
拠点校化	7	0	1	0	6	3	8	15	8	1	49
学校ごと	3	0	1	0	2	0	2	3	1	1	13
今のまま	2	1	1	0	2	0	2	1	0	0	9
その他	2	0	0	0	10	0	3	10	0	0	25
未回答	2	0	0	0	1	1	1	6	0	0	11
合計	16	1	3	0	21	4	16	35	9	2	107



全体では、「拠点校化を進める」と回答された参加者の割合が多い。次いで、「その他」が多く、特に井波地域では、「その他」の割合が一番多い。「拠点校化」についての懸念があることがうかがえる。「今のまま残し、自然に減るのを待つ」と回答された参加者の割合が少なく、何らかの改革が必要と考えている人が多いことがうかがえる。

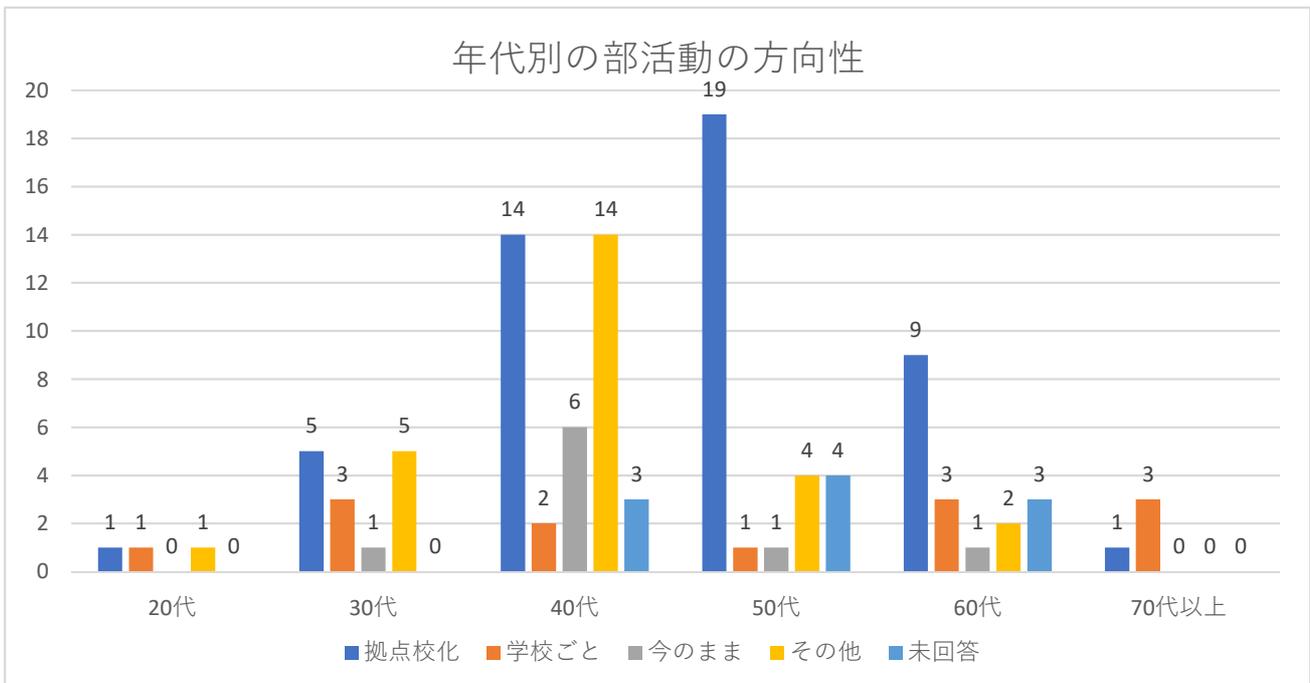
2-(1) 全体説明会に参加された方の年代

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
年代別参加者数	3	14	39	29	18	4	107



2-(2) 全体説明会に参加された方の年代別の部活動の方向性

方向性 \ 年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
拠点校化	1	5	14	19	9	1	49
学校ごと	1	3	2	1	3	3	13
今のまま	0	1	6	1	1	0	9
その他	1	5	14	4	2	0	26
未回答	0	0	3	4	3	0	10
合計	3	14	39	29	18	4	107



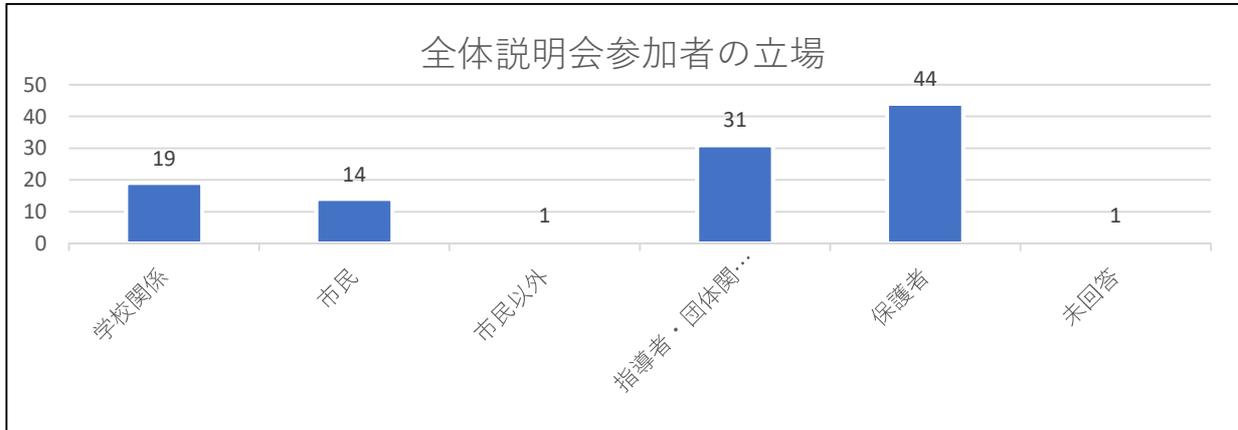
30代、40代では、「拠点校化を進める」と「その他」が同数となっており、賛否が分かれていることがうかがえる。

50代、61代では、「拠点校化」が多い。部活動の現状に課題を感じ、改革が必要と考えている人が多いことがうかがえる。

3-(1) 全体説明会に参加された方の立場

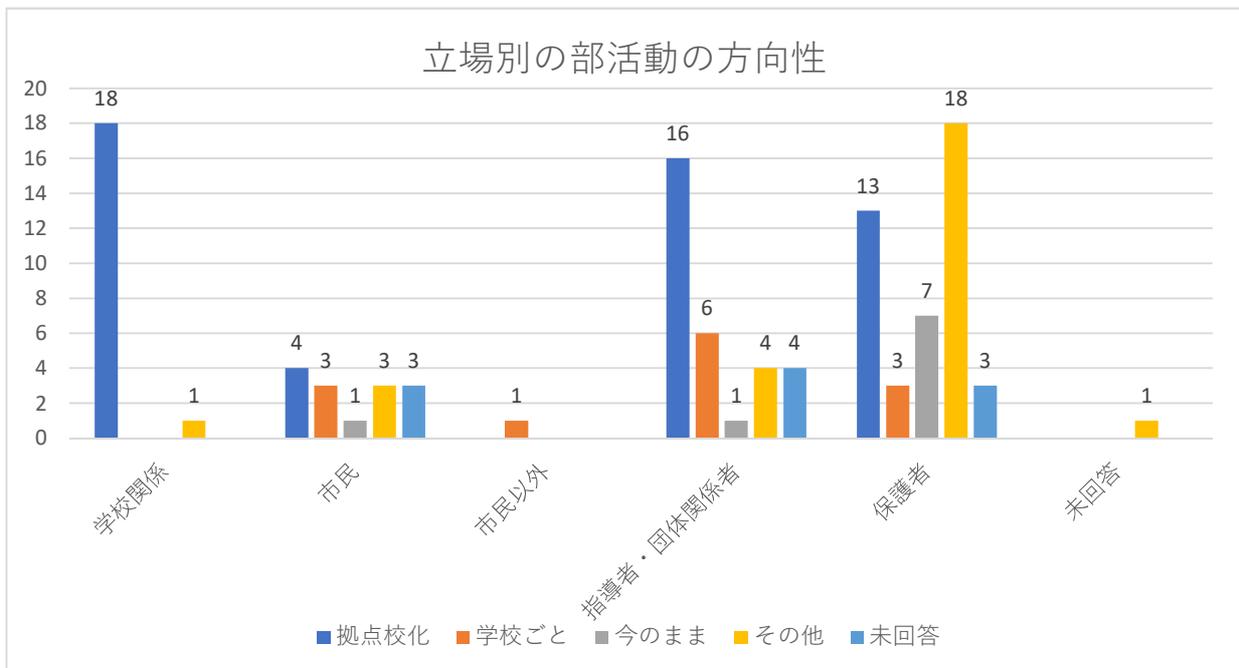
※複数回答者3名

立場	学校関係	市民	市民以外	指導者・団体関係者	保護者	未回答	計
立場別参加者数	19	14	1	31	44	1	110



3-(2) 全体説明会に参加された方の立場別の部活動の方向性

立場 \ 方向性	学校関係	市民	市民以外	指導者・団体関係者	保護者	未回答	計
拠点校化	18	4		16	13		51
学校ごと		3	1	6	3		13
今のまま		1		1	7		9
その他	1	3		4	18	1	27
未回答		3		4	3		10
合計	19	14	1	31	44	1	110



学校関係者では、「拠点校化を進める」が多い。現状の部活動の課題を大いに感じていることがうかがえる。指導者・団体関係者では、「拠点校化を進める」は半数、それ以外の方法が半数となっており、賛否が分かれていることがうかがえる。保護者では、「その他」が多い。「拠点校化」について懸念を感じつつも、何らかの部活動の改革が必要と考えている人が多いことがうかがえる。
立場によって、部活動の方向性の考え方にばらつきがあることがうかがえる。
なお、立場について複数の選択肢を回答された方が3名いるため、それぞれの立場に計上した。

全体説明会アンケートコメント詳細

【意見】

① 部活動の目的に関すること

・部活動の目的ではなく、目標も明確に。	(30代・保護者)
・部活動の内容は、強さを求めるのか、勝つことを求めるのか、ばかりでなく、「ねらい」にあるような、人間関係の構築や楽しさを求めることが必要ではないか。拠点校化ありきではなく、楽しく参加していく部活動の考え方も必要だと思う。	(70代以上・市民)
・部活動は技能の向上(大会での好成績)だけを目指すものではない。	(70代以上・市民)
・部活動のねらいが学校教育の中でどれだけ重要なのか。	(60代 指導者・団体関係者)
・専門スポーツにどれだけ時間をかけても、多くの子供の将来のためにはならない。少ないなら少ないなりに子供は我慢を学ぶ。	(60代・市民)
・特認就学も含め、上の大会に行けるようにしてほしい。	(30代・保護者)
・土・日での試合や夜間練習でも十分に可能。試合もクラブチームでも出られるようにすればよい。クラブチームが出場不可なのはおかしいと思う。	(40代・保護者)
・学校を転校してまで、部活動をする必要はない。	(40代・保護者)
・部活動のねらいを考えると、部活動の種類が減ってもいいので、外部と関わり、強いチームを作ることが、ねらいに沿ったものになると思う。	(40代・保護者)
・例えば、高岡市の能町小学校にはプログラミングクラブがあり、高岡市主催の小中高生対象のプログラミング競技大会に参加している。民間の教室の先生が教えているそう。eスポーツ部やプログラミング部、動画配信部等のネットリテラシーを育む部活動を作ることも必要。	(40代・保護者)
全ての部活動の活動方法も多少調整する必要がある。会って活動する日を予め決め、オンラインレッスン(以下OLL)のできるトレーニングや練習等はOLLです。これをするには、まず、部活動に何を求めるかを検討する必要がある。どの部活動でも勝利や受賞を目的にするなら、OLLを多く取り入れた方法はあまり適さず、一部の学校や子どもたちにしか部活動の選択肢はない。しかし、運動そのものを楽しむ、勝敗より交流を深める、様々なことを体験する等を目的にするなら、この方法は部活動の対象者を広げる。	(40代・保護者)
・部活動としてのそもそものあり方の変化が必要ではないか。クラブチーム化に向けて検討はどうか。	(40代・保護者)
・合同チームや少年団単位のチームでもクラブチームでも、地区選に出れるようにしてほしい。	(40代・保護者)
・部活動という枠組みを無くした方がよい。	(30代・指導者・団体関係者)
・部活動の意味を父兄は分かっていないと思った。	(50代・市民)
・チャンピオンスポーツをしたい(大会に出ることを目的)と思っていない(楽しみたい)子供もいる。	(50代・指導者・団体関係者)
・部活動が子供に占める割合は多くない。本当にやりたい生徒はクラブチームで活動に行っている。	(60代・指導者・団体関係者)

② 中学校のあり方に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 部活動のあり方検討委より学校のあり方検討委の方を、もっと市民を巻き込んで話をするべきではないか。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> 近隣にある中学校を統合させる。例えば、福光にある中学校2校を1校にする。そうすれば子どもの人数も集まり、部活動を減らさなくて済むから。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 今すぐという点では、「拠点校化案」がよいのかもしれないが、子供の人数が減っているのなら、これからのことを考えたら、福光にある2つの中学校を1校に統合するやり方が、よいのではないかと思う。人数が集まれば、部活動も持続できるので。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 今すぐは無理でも、中学校の統合(市内2～3校?)をすべきではないか。 	(40代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> 学校のあり方検討委の8中学校に残す。同じ教委が諮問した委員会が、相反している。3中学校に統合する。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> 中学校を減らすことを考えてほしい。南砺市に中学校はこんなにたくさん要らない。まず、減らしてほしい。南砺市の人口を見たときに何校あるべきか、すぐに考えてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 子供のコミュニケーション能力の向上に向けて、多くの多様性を育むのであれば、中学校の統合を見据えた、経典校の設置であれば分かるが、2045年の義務教育学校課を考えると、旧町村の枠組みを残すのは、将来の子供を考えるといかがかと思う。 	(50代・指導者・団体関係者、保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 学校を減らす。旧町村にこだわりすぎ。15年先しか見ていないのなら、やる意味ない。15年はすぐに経ってしまう。30～40年先を考えないといけない。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 市全体と言っていたにもかかわらず、南砺市に統合したのに、なぜ8つの学校にこだわるのか。南砺市全体の課題と言っているのに、これでは、旧町村をととても意識しているように見える。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 学校統合を見据えた拠点校化を進めていくべき。(黒部市で8年で統合したのに、なぜ、10～15年かかるとあきらめているのか) 	(50代・指導者・団体関係者、保護者)
<ul style="list-style-type: none"> そもそも、8中学校存続が無理があると思う。本当に、子供のことを考えるなら、地域にこだわらず統合を進めていってほしい。生の声を聞いて欲しい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 8校存続は、勝手に決めたことではないか。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 8中学校存続などあり得ない。子供の数の現実があるのに、先延ばしすぎ。合併すべき(できる範囲で)。市で1校はあり得ないが、平野部は減らせるのでは？ 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動だけ他の学校へ集めたりはできないのか。若しくは中学校の統合。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> やっぱり学校の統合か。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 学校数は減らす。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 中学校の統合！すべき。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> 学校を統合していく。 	(60代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> 中学校の統合検討。 	(60代・市民)

③ 拠点校化の方法に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 市全体の利益のためには、部活動数を市全体として絞るのがベターだと思う。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 他地域の子供たちと自分の子が興味のある部活ができることになるのはありがたい機会だと思う。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 強いチームをつくるために実施したらよいと思う。 	(60代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点校化には賛成。しかし、スポーツ少年団や従来の部の種類から部の種類を選択することはよいとは思えない。例えば、オリンピックも団体競技は減っており、新たな部の創設についても柔軟に対応してもらいたいと思う。生徒や保護者の意見、時代の流れを考慮し、部の種類や数を決めてもらいたい。面白い部があるから移住するということもあるかもしれない。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> オンラインを利用した指導や交流、高校との連携なども考えてもらいたい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 子供たちは、その学校にある部活動の中で選択しているのが現状。また、それを楽しんでいるように思う。その学校にない種目については、各スポーツ団体のクラブにお任せする形でのよいのではないか。 	(40代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 必ず部活動に入らないといけないのか、地区のクラブに入ればよいのかも、改めて考えてほしい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> クラブ活動(バレー、水泳、サッカー等)のあり方も共に考えていってほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 居住する地区の中学校に希望する部活動がない場合でも、居住する学校に通学しながら、例えば、火・木・休日は18:00からの地域部(クラブ)活動に保護者の送迎で参加。水・金は通学する学校で、個人練習メニューに取り組む方法もあるのではないか。(自己で計画する、指導者と相談することで、自己管理能力を育成することもねらえる) 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 今ある部活動だけでなく、eスポーツ部やプログラミング部等を新しく設置し、普段リモートで対応し、週や月で実際に会う部活動をする日を設定していくことも必要だと思う。子供一人一人にタブレットが渡されているので、それを活用した部活動を考える必要があると思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ部、文化部の目的(ゴール)をどこに置かかを明確にする必要があると思う。勝敗、体力作り、運動習慣をつける、視野を広げるなどによって、指導者の人数や質、部活動の内容が変わると思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 運動部が主体だったが、生徒は必ずしも運動ではないと思う。文化芸術部の希望もあると思う。地域性もあるが、芸能に関心を持ってもらうためにも、意見の聴取をお願いしたい。例えば、書初めの指導等。 	(70代以上・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 特認就学をする子供が自分で通学できるような交通網も検討していただきたい。(なんバスの充実等)子供たちの自立も大切にしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 地域(受け皿)の設定次第では、部活動数(競技数)を減らすことなくできるのではないか。 	(30代・市民以外)
<ul style="list-style-type: none"> 意欲のある者、才能のある者、送迎できる家庭にスポットが当たった改革のように見える。 	(70代以上・市民)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、中1・3の子供をもつ親。部が存続できるかどうか、毎年1が何人入部してくれるか、子だけでなく親も心配している。「部活動のねらい」も分かるが、やはり活動するからには、大会・コンクールに出場してほしい。喜びや悲しみを部員と共有してほしい。まずは、各学校の部活動を減らし、人数を確保するのがよいのではないか？ 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動では物足りず、クラブチームや公式チームなどに移る生徒は増えると思う。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲のある者は今でも、住所変更して遠くでも通っている。特認就学が現実的に今もある。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 強い部は今はA中でも、5年後はB中となるかもしれない。また、仲間との人間関係で、悪い雰囲気になる場合もある。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平・上平地域や利賀地域では難しいかもしれないが、運動部と文化部、最低1つずつは残してほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期であること、選ぶチャンスをお子に与えられたらいいと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動を学校教育から離れてしまい、地域へ移行する方法を考えた方がよい。国もその方向で考えているのではないか。 	(60代 指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動が苦手、内気な子などが、文芸部(仮定)に集中するのではないか。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 野球が人気というか。今までも、入部が0の時があった。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ チームスポーツの存続を願う指導者のためのものだと感じた。 	(70代以上・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブチームの活動を部活動と同じ扱いにする。学校には活動報告を提出する。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域移行される際に、指導者確保できないと難しいとなると、子供たちの活動とは関係なくなって、大人の都合で決められている気がする。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市全体ではなく、市の中でもまずは、部分的に拠点校化の試験導入の検討を進めるべきではないか。(例えば、城端と福光間など) 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ へき地は部活動の移動は難しく、町部のみの活動でよいのではないか。町部の保護者や学校で了解を得て活動すれば。移動ができればすればよい。本人次第だと思う。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域クラブ・各種競技団体クラブへの参加を部活動として認める。(現状より推進していく) 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の内容はよいが、集約する必要はないように思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちの移動のスクールバス運行は変えられないとのことだが、送迎できる家族のみ特認就学が認められ、校区外での部活動ができ、送迎できない家庭ではあきらめなければいけないということになり、何とかできないかなと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の生徒の学校間の移動に対して検討が少ないと思う。この内容では現実的ではないと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ (スクール)バスの予算がないのであれば、代案をお願いします。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世帯への影響の考慮がない。一般家庭には、地元中学校へ通う選択しかないのではないか。 	(30代・保護者)

<ul style="list-style-type: none"> 『拠点校化案』は実現し易いものだと思うが、多少の調整が必要。まず、保護者の支援が必須であることが問題。家族構成や保護者の仕事、地理的要因で支援できる家庭には選択肢があり、できない家庭には選択肢がないことになる。公共教育で格差を助長する仕組みは取り入れるべきではない。部活動を「親子で相談して決定せよ」というのは、事実上、親の意向が子の選択を決定することになりかねない。これはこどもの権利や尊厳を侵すものにならないか。南砺市はこどもの権利条約を進めているのに矛盾している。 『拠点校化案』をするならば、スクールバスや市営バス、タクシー、ファミリーサポート等を利用し、子どもは自ら望む部活動を選択し、拠点校に行き来できる仕組みを作ることは必須。なぜなら、子どもの教育＝子どもと日本の未来を作ることだから。市域が広く予算がないと言いつつ、コロナ禍でPaypayを利用し地元の中小企業を支援したのなら、この予算のつけを払うのは南砺市の子どもたち。その子どもたちに「市にお金がないから公共サービスはあるもので我慢せよ」というなら、その子どもたちは将来選択肢のない南砺市に住んで子育てしたいと思うだろうか。また、県市民税を納めている保護者は、行政サービスの悪い市で子育てしたいと思うだろうか。そして、行政サービスの縮小ばかりせず、併せて現状に即した部活動を作ることと産業振興も必要。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動の為に学校を選ぶのに疑問をもつ。切り離して考えられないか？ 選択肢を増やすという意味で、自由に学校を選べるのはいいことだと思う。ただ、学校を選ばないと部活動を選べないというのはおかしいと思うので、学校を選択する自由は賛成で、部活動の他校に参加する自由も認めてほしい。大会等に出られる出られないは、大人の都合でしかないの、知恵を出していただきたいと思う。他の保護者も、今議論してるのは部活だけ他の学校にいつてやる話だと誤認している。説明不足である。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動を生徒主体で、作ったり減らしたりすることが出来てもいいと思う。人数と署名をあつめて部活を作りたいくても断られるとの話も聞いたことがあるので、子供が減るからといって、大人の都合で整理するのはどうかと思う。小学生の子供が始めたスポーツが中学校にはない。上がったタイミングで、新たに部活動を作ることができるなら、団体戦に出られなくてもいいなと思う。 部活動で学校を移動する人は、かなり少ないと思うので、選択肢は増やしても、既存の部活を整理するのではなく、試合が出来なくても地元の学校でその部活をしたい人の選択肢を減らさないで欲しいと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> クラブチームの活動を部活の一部とみなして、柔軟な対応をする。 クラブチームでの活動を部活として扱う場合は活動日誌を学校に提出することを義務づける。 各地域でできる部活、クラブチームを公開し選択できるようにする。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 団体スポーツだけではなく、その他個人スポーツや文化、科学の多様性も生かせることを考えることも必要ではないか。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 選択肢が広がるのはよい。運動部だけでなく文化系でも多様に可能性が広がる。ただ、小中一貫がよい場合と悪い場合もある。9年間同じ種目でなくても、多様に変更したり、いろいろなことに挑戦したりできる仕組みが必要。部活動は技術力の向上が一番の目的ではないはず。小学生から取り組むことがよいとは思わない。家庭で過ごす時間と過ごし方が小学生には最も大切なのではないか。中学生にも大切にしたいことは何か考えていかなければいけない。多様な子供たちに多様に対応できるような仕組みを。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 数字がない。市としてどの部活動を残し、それぞれ最低何人必要で、現在何人の競技者がいるのか示さないとわからない。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点校化を行うことで、影響を受ける子は、小学校からある競技を行っていて、進む地元の中学校に、その部活動がない子供たちです。その子供たちが、地元の中学に進学しつつ、同じ競技を行いたい場合の、特例措置を設ければよいのではないか。(例えば 井波+福野、城端+福光 などなるべく近い地域で、部活動のみの行き来を可能にする。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動とスポ少との兼ね合いも、少し整理できないものか。 	(40代・保護者)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 人気スポーツ等が地元になくなると、福野地域のように、まだ踏みとどまっている地域が割を食うと思われる。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の部活動を減らすのは理解できる。同時に、クラブ化、地域移行したチームについても、中体連の大会に出られるようにしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平野部の学校にもマルチスポーツ部があってよいと思う。例えば、小学校から続けて少年団に所属しているとして、中学校にその部がなくても、マルチスポーツ部に入って、体力をつけて、夜の練習で少年団またはクラブを続け、大会などに継続して参加していけたらよいと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点校化案だけでなく、別の学校に部活動をしに行ってもいいのではないか。 	(50代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の統合、通学はバスを全生徒が利用して、遠くても安全に通えるよう配置する。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動数減は、学校ごとの判断で。 	(60代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動を移動して行う。学校は、地域の学校へ通う方がよいと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人競技と団体競技を分けて検討する必要がある。 	(60代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動の拠点づくりではなく、学校数を減らして、スポーツは団体に任せればどうか。学校は勉学、スポーツは外へ。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブチームへの移行・充実、部活動は将来的に減少。 	(60代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域スポーツを拠点化する。 	(50代・指導者・団体関係者)

④ 進め方に関すること

<ul style="list-style-type: none"> まずは部活動のあり方に対する取組みが遅すぎる。何年も前からわかっていた事を学校、行政が放置してきたことが問題である。とはいえ今ある現状を的確に把握し必ず変えていくべき問題だと思う。今日聞いた拠点校下案はベストとはいえないがベターであると感じる。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 「拠点校化」のねらい、メリットはシンプルの方がよい。 	(60代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 現在の負担の話ではなく、将来の南砺の子供たちのことを考え、進めていただければと思う。今後必ず、変えていく必要があるので、様々な意見はあると思うが、進めていって、やってみて改善してというのを繰り返していけば、他にはない画期的な取組となるかとも思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 「退却戦」の難しさを感じる。誰かが満足ということではなく、みんながそれぞれに不満を残すところに「落としどころ」があると思っている。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 部員が減った部は粛々と無くせばよい。生徒がかわいそうみたいな感情論はあり得ない。社会は厳しいんだよと教えるのも教育。 	(40代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> まずは、チームスポーツから移行を進めた方がよい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 成り立っている部活動をつぶすものではないという考え方のもと、「拠点校化」を進める。 	(40代・指導者・団体関係者・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 競技によって必要性や重要性が異なるので、少しでも早く対応を要する部活動と、そうではない部活動の温度差がどうしても出る。適した時期とタイミング、有効な拠点化を行っていく必要があると思う。 	(40代・指導者・団体関係者・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 概ね「拠点校化」で進める。しかし、一度衰退したスポーツはその地域には、二度と根付かない。選択には慎重さが必要だと思う。 	(20代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 現小2でスポ少に入っている子供がいるが、スケジュールどおりにいくと、中学に入る時は、その競技の部がなくなる可能性があると思うと、不安を感じ、入らせたことを後悔しそう。また、今後後輩が入ってこなくなる可能性もあり、スポ少にいる間に試合に参加できなくなるかもしれない。このスケジュールについて広く周知されることで、もう今から影響が出る。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> スケジュールがR6年度に完全移行だが、県・国の部活動に対する動きもあると思う。県・国の動きと合わせていった方がスムーズではないかと思った。また、移行期の時期の生徒への配慮を十分をお願いしたい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> R2.12月から3回の検討で決まっていたことに驚きました。もう少し丁寧に検討していただきたいと思った。パブリックコメント該当なしを承認とされることがないようにしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 学校・保護者の協力も大変必要である。 	(60代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 将来の中学生の保護者の方も交えて進めてほしい。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> この方針を決定するスケジュールがあまりに短すぎないか。ヒアリングなどしていないのに、今年度中に方針決定など、あまりに拙速すぎると思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> この問題は、トップダウンで決めることではないと思う。大人のみでなく、子供たちにも、代表だけでなく、いろいろな種類の子供(部活、スポ少単位)にも、聞いてみるべきだと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 拠点校化の前に、特認就学での生徒の移動を見てもよいのでは？ 	(40代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 保護者内と学校における議論が不十分である。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 子供たちのために早く決めてほしい。 	(50代・市民)

⑤ 意見聴取に関すること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供ぬきで、話し合いは進められない。やはり、全員からの意見を聞くことが大切だと感じた。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たち(小4～中学生全員)にアンケートしてほしい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園・小学校・中学校の保護者アンケートや各協会へのアンケートを取る必要があるのではないか。 	(60代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ あまりにも説明会に参加する人が少すぎる。中学校にしか配布していないのか？小学校に案内してないのか？これでは次のステップには進めない。より多くの人の声をというふうには感じられない。 また検討委員会に小中の子供や孫を持つメンバーが少すぎる。行政は当事者の意見を聞かないまま物事を進めることが多すぎる。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民説明、各種団体の理解を得るための説明等、これからも実施すべきであると思う。拠点化を進めましょう！アンケート等、子供や保護者、地域住民から幅広く意見をとることが大切だと感じた。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者が集まる学年活動や懇談会で課題として取り上げ、意見交換会などをしていくべきである。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文科系の特色を生かし、伸ばしていく部活動へのスポットライトがどうしても当てられにくい状況になっていると思う。文化についても、スポーツに打ち消されないように意見を出し、聴き取ってほしい。 	(40代・指導者・団体関係者・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く生徒の意見を聞き(部活動に積極的な生徒や消極的な生徒から)進めていただきたい。 	(60代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしても意見を言いたい人ばかりで大変ですね。そういう地域の声を吸い上げる機会も必要ではないか。 	(30代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主役は子供。だから中学生・小学4・5・6年など、全員の子供の意見が必要。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点校化するにも、家族の意見も必要だと思う。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全生徒(市内)にアンケートをしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ データが少ないし、これはできないや時間がかかるなどと言われても、何がネックなのか分からないので、意見が出しにくい。意見を出す場を設けてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表だけではないいろいろな種類の子供(部活動、スポ少単位で)にも、聞いてみるべきだと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会の内容ができないや時間がかかるなどが多く、なぜできないのか、なぜ時間がかかるのかがわからず意見が出しにくい。南砺市のHPなどで、議論結果の公開や意見を書き込みできる状態にしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と子供全員にアンケートを取ってほしい。資料内の「子供の意見」が3～4人の子供の意見と聞いて驚いた。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 南砺市内の全保護者と子どもにアンケートをとってもらいたい。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供全員にアンケートをとればよいと思う。 	(50代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全生徒、保護者にアンケートを取ってほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 南砺市全保護者(小・中)のアンケートの実施をしてほしい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちへの意見・アンケートくらいは、紙面で全員に取るべき。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たち、保護者、団体に意見を聞いて欲しい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学生にこのような内容のアンケートをとるべきだと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主役だけど、生徒は知らないことも多い。 	(60代・指導者・団体関係者)

⑥ 市民の理解に関すること

・市民の様々な意見を聞く機会となりよかった。	(50代・学校関係)
・本日の説明のような機会をどんどん増やし、地域住民の不安を少なくしたい。	(50代・学校関係)
・拠点校化を進める上で、考え方を地域に時間をかけて浸透させた方がよいと思われる。急な方向性を生むと、誤解を招くことが多く発生すると思われる。	(50代・学校関係)

⑦ 団体組織・指導者に関すること

・中学校の部活動は中学だけの問題ではなく、小学生の地域活動からの改革が必要である。 近年では地域活動の指導者が保護者指導者の割合が高くなっているが、指導者としての資質や知識の低下の問題があり、指導者としてのセミナーや講習を必ず受講して、指導者としてのスキルをアップしていく必要がある。 小学校は小学校、中学校は中学校で学ぶべきことも違うはずなので、専門の技術や知識だけではなく、教育的観点に対するスキルが必要だと感じる。	(40代・保護者)
・学校としては、しっかりとした競技団体に部を委ねたい。各協会等がしっかりしてほしい。	(50代・学校関係)
・「拠点校化」を進める一方で、クラブの乱立を防ぎ、市の指導者が残った部の地域の指導に協力する体制を作る。クラブの乱立の調整も必要。	(50代・指導者・団体関係者・学校関係)
・クラブの体力のある地域で部を残し、地域と協力して実施。部としては、「頑張れない子」「やる気のない子」にも部活動の目的が達成できるように努める指導をする。	(50代・指導者・団体関係者・学校関係)
・それぞれの地域の指導者が、市として協力するようにしてほしい。A中にある部には指導に行かず、B中で部はないけど、B地域でクラブを立ち上げ、子供を教えるということがなければいいと思う。	(50代・指導者・団体関係者・学校関係)
・スポーツクラブ＝少年団となっているので、スポーツクラブは市で統合しないのか。	(40代・指導者・団体関係者)
・拠点校化もありだが、スポーツクラブを一括して指導するのが望ましい。学校主導である必要はない。学校しばかりもよくない。	(40代・指導者・団体関係者)
・10～15年後には、拠点化した地域指導も厳しいと思う。現状の外部指導者の把握と合わせて、10年後にも指導者の確保が可能かの把握も、各団体に確認してほしい。	(40代・市民)
・地域指導者への支援が必要である。ボランティアが大半だが、負担の増加がないようにしてほしい。指導者のモチベーションがupする市内のシステム作り(地域への丸投げではない)が必要である。	(40代・指導者・団体関係者)
・これを機会として、スポーツのクラブチーム化を進めていくと同時に、指導者の環境整備と支援の充実を進めてほしい。	(60代・市民)
・地域指導者への協力金の準備が必要である。	(30代・保護者)
・地域指導者の確保に、これまで関連していた若者を引き込む。	(30代・保護者)
・指導者の連携がキーになってくると思われる。委員会との話し合いが必要だと思う。	(70代 市民)
・どういう形であれ、よい指導者にかかっている。指導者の優遇、そして確保が大切。	(70代以上・市民)
・社会体育やクラブ組織のチーム、スポーツクラブとの関連が薄い。	(70代以上・市民)
・施設の柔軟な利用。(拠点校化ができるなら可能なはず)	(20代・指導者・団体関係者)

<ul style="list-style-type: none"> 一人の教師ではなく、一人のスポーツインストラクターを学校で、年400万円で雇ったらよいのではないか。 	(30代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> スポ少は現状のままの方がよいのではないか。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 現に城端地域では、サッカー部が無くなり、クラブチームになっている。放課後、部活動にこだわらなくてもよいのではないか。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の指導者を育てなければ。その体制が必要である。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 体育協会、スポーツ少年団、地域スポーツクラブとのかかわりが見えないことから、指導者の問題が大きいのではないか。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 南砺市公認のクラブの設立。 	(30代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 指導者の現状(どんなコーチが、週何回できるか、子供の伸び率、子供・親からの評価など)をもっと正確に知る必要があると思う。 	(30代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 指導者をお願いベースでしか話が進んでいない。これでは、ブラック顧問ではなく、ブラック指導者になってしまう。そこまでするなら、部活動は無くせばよい。 	(30代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 完全クラブ化で、そのサポートを考えた方がよい。南砺市スポーツクラブのような組織をつくり、指導員(正)＋コーチ(副)を選定する。全施設利用料0円にする。練習場所は回して活動する。など 	(30代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 競技のスポーツクラブ化を進める。 	(60代・市民)
<ul style="list-style-type: none"> 南砺市体育協会のジュニアアスリート育成事業は内容がとても素晴らしいのにも関わらず、募集人数に対し半分しか集まっていない。この状況に主催者と受講する子の家庭とのギャップを感じる。それは、五箇山地域の参加者が0人ということを鑑みると、開催地と時間帯に問題があるように思う。この問題を解決し、質の良い教育を平等に提供するには、これをオンラインレッスンで部活動に取り入れる。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 今後、継続的な指導体制を構築するためにも、市から十分な支援が必要ではないか。現在、各施設管理で行う団体があるが、その職員の方々へ十分な補償が必要ではないか。指導者とはスポーツ愛好家であり、施設が使いやすく、職員の方がよい環境で働けることが大切である。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> どれだけ指導者を確保し、一緒に活動していけるか。 	(60代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ指導者は、学校の時間帯では指導できない。私は、20年夜19:00～21:00で指導してきた。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 競技力向上を目指すときは、地域ごとで、各地域の指導者連携は難しいのではないか。 	(50代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 指導者団体への丸投げではないのか。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動のあり方の問題は学校教育の問題だけでなく、産業と経済の問題に繋がっている。なぜなら、南砺市の人口流出と減少によって超少子高齢化が進んでいるから。人口流出と減少の原因が明確に今回の説明会の資料にないので憶測の話になるが、今の高校生以下の子どもたちが、将来、南砺市で働きたいと思う産業や企業がないと、郷土愛はあっても郷土に残る理由がなくなる。また、富山県と南砺市に共通の人口流出問題として、進学等で都市部に行った女性が戻ってくる率が低いことがある。その理由として考えられるのは、都市部の方が自分の望む職業がある、給料が高い、生活に刺激がある、娯楽施設等の充実等だろう。つまり、富山県や南砺市に戻っても職業、給料、人間関係、生活全般の選択肢が少なく、女性が活躍し物心共に満たす環境がない。また、男女問わず南砺市に住んでいても勤務先が近隣の市で、その方々の所得が勤務先が南砺市の方々より高いかもしれない。その場合のその人の子どもの居住地や所得、南砺市からの転出率等も参考資料には必要だろう。これらの情報を収集していないなら、収集し現状を把握する必要がある。 <p>日本は超少子高齢化社会に対応すべく、生産性が高く日本の気候に合っている観光産業を主要産業にしようとして各地でハード面、ソフト面でインバウンドを強烈に後押ししている。南砺市には世界遺産の合掌造りがあるのに、それを積極的に活用し観光を主要産業にしようとしていない。まず、観光産業を大きくする為の明確な指標を作り、その為のインフラ整備や政策を押し進める。産業振興していないから人口流出が止まらず、収入も上がらず、子どもを産む世代が減少する。</p> <p>したがって、産業、経済に関わる方々を検討委員会に含める必要がある。</p>	(40代・保護者)

⑧ 学校の課題・働き方改革に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 学校現場では、部員数が集まらず、充実した部活動運営が難しい状況がある。少しでも生徒のためになる方法として、部活動を減らすしか方法がない。その一つとして、拠点校を実施していくのは、現実的なやり方だと思われる。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> これは、学校の教員の負担軽減にもなる取組。拠点校化になると市民体育大会(中学の部)は廃止(縮小)になっていくのかなと思った。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 昔を思い出すと、各部に入部定員があり、学校がコントロールしていた。地域の指導者を頼っていくと、なかなか、定員というより、やりたい人を全部入れるようになった。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動のメリットは先生方がいっちゃって成り立つものだと思う。ご負担は理解しているが、これからもお願いしたい。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 教職員の時間外労働の問題を、この話にこじ付けて解決しようとするのはどうかと思う。そもそも問題があるなら、別に論議して、解決してほしい。素人が部活の顧問をしてる現状は、部活動を充実させることと矛盾している。 	(40代・保護者)

⑨ 調査に関すること

<ul style="list-style-type: none"> 指導者(現在のエキスパート)と競技団体との関係を調査しておく必要がある。 	(60代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 説明会なのに、調査の内容が曖昧に感じた。 	(20代 指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の開催期間を考えると、もう少し検討が必要と思う。各親御さんの意見などを聞かずに早急すぎるのではないかな。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動の現状をもっと多くの視点から把握して、問題点を解決してほしい。 	(50代・指導者・団体関係者、保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 資料にあった子供の意見がたった3、4人の意見と聞き驚いた。 	(30代・保護者)

⑩ その他

<ul style="list-style-type: none"> いろいろな意見があるのは当然だと思う。ここまで進めておられることに感謝。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 前回より説得力のある説明だったと思う。総論として、市民の理解が得られるのではないかな。 	(50代・学校関係)
<ul style="list-style-type: none"> 学校のPTAの委員会数や活動内容も子供の数と比例して変革していくべきである。事なかれ主義の学校や行政では良くなっていかない。合併して十数年が経つがまだまだ南砺市は地域エゴがひどすぎる。地域の枠を超えて南砺市としてどうあるべきかをもっともっと多くの知恵を出し合って真剣に考えていきましょう！ 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 大変分かりやすい説明だった。 	(60代・南砺市民)
<ul style="list-style-type: none"> 日本の未来はお先真っ暗と思った。 	(40代・指導者・団体関係者)
<ul style="list-style-type: none"> 部活動では補助があるが、クラブチームでは、遠くで試合があっても、バスの手配等ないのが、不公平だと思う。 	(40代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 子育てしにくい自治体として、過疎がより進行する可能性の方が高い。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> 今日の話だけでは、どちらがよいか分からない。 	(30代・保護者)
<ul style="list-style-type: none"> スポ少だけ参加して、部活動に参加しなくなるのが心配。 	(50代・市民)

・小学生が中学校の状況を把握していないと思う。	(50代・市民)
・P6「ほとんどの子供」の表現はおかしい。	(40代・保護者)
・悩ましいところ。	(50代・学校関係)
・何がよいのか、どれがよいのか分からない。	(50代・保護者)
・具体的な方法はないが、①～③はよいと思うには○を付けにくいものだったので、④にした。みなさんがみなさんの思う通りにはいかないが、よい方向に話が進めばよいと思った。	(20代・?)
・子供の人数が少なくなり、拠点校化という話が出ても仕方ないことかと思う。ただ、子供を増やしていく努力といったことはしていかないのか。このままでは、拠点校化をしても、さらに人数が減っていくのではないか。	(30代・指導者・団体関係者)
・移動が可能となるなら、みんな、砺波や金沢へ住所を移し、さらに少子化、人口減少が進むと考えられる。現に、小学生の親は、こうした移住・移転等考えているという話も聞いている。	(60代・市民)

【質問】

・全員部活動制は維持されるのか。(何も所属しなくてよいことを認めるという意味で。無理やりさせる必要はないのではないか。)	(50代・指導者・団体関係者・学校関係)
・生徒は必ず部活動に入ることになっているのか。	(50代・指導者・団体関係者)
・部活動をしない子供もいるのか。	(50代・指導者・団体関係者)
・地域のクラブの乱立の危険性はないか。(自分の地域にないからクラブを立ち上げる←こうなると拠点校化の意味がなくなる。)	(50代・指導者・団体関係者・学校関係)
・例えば、野球を考えたとき、A中、B中にしたとしても人数が増えると思えない。むしろ、公式のチームに流れてしまう可能性はないか。	(50代・指導者・団体関係者・学校関係)
・一つ懸念されることは、指導者への負担、指導も年を重ねると、人数やレベルも変化が出てくると思われる。その辺りはどうなるのか。	(30代・保護者)
・説明ではメリットがたくさんあったが、デメリットはないのか。	(50代・指導者・団体関係者)
・移動手段は、個人なのか。	(70代以上・指導者・団体関係者)
・合同部活動制度のレベル・ステージを飛び越えての改革？	(70代以上・市民)
・現在、スポ少でやっているスポーツが中学校に無くなった際、辞めなければならないのでしょうか。	(40代・保護者)
・保護者、子供、教員の意識は？	(30代・市民以外)
・多様性ということで、新たに設置する部活動は想定しているのか。	(40代・保護者)
・8中学校存続は誰が望んでいるのか。地域の人と言うが、本当か。	(40代・保護者)
・得意な子に特認就学を認めるとあるが、なんとなく校区外の部活動をやりたい・やってみいたいという子には特認就学を認めないのか。	(30代・指導者・団体関係者)
・特認就学は、どのような規定があるのか。(住所を移すとか)	(40代・保護者)
・特認就学となった場合は通学方法はどうするのか。全て保護者なのか、スクールバスを出すのか。	(40代・保護者)
・小学生の保護者が、中学校の部活動について説明することはあるのか。	(50代・指導者・団体関係者)